

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	株式会社ナカヨ通信機
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>未整備エリアという大きな需要が、期待できないエリアで、ユニバーサルサービスとしての基盤整備を図るには、事業者のインセンティブを高める施策が必要と考えます。</p> <p>この一例として、ユニバーサル基金、公的資金援助などが考えられますが経済合理性の観点から見ると事業者の参入意欲を湧かせる事も重要でブロードバンドサービス利用者へのポイント付与や各種住民サービスの拡充などの需要喚起策が、必要ではないでしょうか。</p>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<p>料金の低廉化には、これからも事業者間の公正な競争環境の整備が必要と思います。</p> <p>ただ、ブロードバンドに係わる事業者は、下位レイヤから上位レイヤまで多岐に亘り、既存の業界の垣根を越えたボーダレスな競争環境が、益々強まってくるのではないのでしょうか。</p> <p>この様な中で、事業者は、インフラ事業としての責務を果たす事は、もちろんですが、自由な発想のもとで、魅力あるサービス開発に切磋琢磨してもらいたい。</p> <p>その為にも、規制緩和や新規性、斬新性の高い技術・サービス開発への公的資金援助といった事業者の創造性、投資意欲を助長する施策や事業活動を支援出来る柔軟な施策が、必要ではないでしょうか。</p>